

登録コード	J5230200	開講年度	2026			
授業科目	経営者と企業				担当教員	橋本 規之 他
英文授業名	Business Management and Enterprise				副担当	藤野 義和
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限 水曜・4時限	対象学年
講義室	経法第2講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
経法23加（2026改）・応用経済，経法23加・応用経済						
専門知識を応用・実践する力として，計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価，実験経済学による社会制度の機能の検証，医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘，法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証，などのスキルを習得し，経済の実情に即した政策提言，あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。				⇔	専門知識を応用・実践する力として，地元企業を経営する経営者の経験に基づいた話を聞くことを通じて，地域経済の実情や，経営課題とその取り組みなどを理解する。	
経法20加・応用経済						
環境問題，少子高齢化，自然・経済リスクの管理，コーポレート・ガバナンス等の法制度がかかわる問題などについて，現実に関解決を探る際には，法学，さらには，理学・工学・医学等の関連領域との協力が必要となる。このために，関連する分野の考え方を正しく理解して経済学的分析手法との相違を把握し，経済学の知見を，柔軟にまた建設的に応用できる能力を身につける。				⇔	様々な問題について現実の解決策を探る際に，経営学の知見を柔軟にまた建設的に応用できる能力を身につけるために，地元企業を経営する経営者の経験に基づいた話を聞くことを通じて，地域経済の実情や，経営課題とその取り組みなどを説明できるようになる。	
経法23加（2026改）・応用経済，経法23加・応用経済						
【2020年度以降カリキュラム対象】専門領域での基礎知識として，経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして，経済理論の応用分野として，金融，公共政策，法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで，専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。				⇔	専門領域での基礎知識として，地元企業を経営する経営者の経験に基づいた話を聞くことを通じて，地域経済の実情や，経営課題とその取り組みなどを理解する。	
経法23加（2026改）・総合法律，経法23加・総合法律						
環境問題や，企業や行政の組織内において，日々生起する諸問題について，理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち，総合的に解決していくことのできる能力を身につける。				⇔	様々な問題を総合的に解決していくことのできる能力を身につけるために，地元企業を経営する経営者の経験に基づいた話を聞くことを通じて，地域経済の実情や，経営課題とその取り組みなどを説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース					
(4)授業の概要	本授業は、講演会スタイルの授業です。 長野県経営者協会のご協力を得て、長野県に拠点を持つ企業や組織の経営者をゲスト講師にお迎えします。 各界の第一線で活躍の方のお話を伺うことで、ビジネスやマネジメントの実際についての理解を深めます。					
(5)授業計画	各回の開催日とゲスト講師を記した講義スケジュールは、後期の開始までに、e-ALPSに掲示します。 また、講義スケジュールと一緒に、履修に関するガイダンス資料もe-ALPSに掲示しますので、第1回の授業開始までに読んでおいてください。 毎回の授業は、13：30に開始し、16：10に終了します。 講義：1時間40分、質疑応答：30分、レポート作成：30分、の構成です。 講義の冒頭5分程度、経営者協会の方から講師の紹介があります。 授業は、全8回です。 8回のうち1回は、経法学部キャリアサポート委員会による、企業講演会と内定者報告会の開催を予定しています。 最後の回に授業アンケートを行います。					
(6)成績評価の方法	成績評価は、毎回の授業終了時に提出するレポートと質疑応答時の質問を対象に行います。 レポートの内容については、ガイダンス資料で説明します。 授業中の質疑応答における質問は、レポートの得点として加点します。 授業時間内にレポートの作成時間をとるため、その時間内に作成し提出してもらいます。					
(7)成績評価の基準	各回のレポートの得点（100点満点）の平均値に基づき、次のような成績評価となります。 秀（90点～100点）：授業の理解度が「卓越している」					

(7)成績評価の基準	優（８０点～８９点）：授業の理解度が「かなり上にある」 良（７０点～７９点）：授業の理解度が「やや上にある」 可（６０点～６９点）：授業の理解度が「合格水準にある」 不可（６０点未満）：授業の理解度が「合格水準に達していない」
(8)事前事後学習の内容	ウェブサイト等で各講師の企業や組織について予習をして臨むことを期待します。
(9)履修上の注意	1. 一流の方をお迎えするのにふさわしい、身なり、態度、礼儀が求められます。 遅刻、途中退室、携帯電話の使用、私語、帽子・サングラスの着用、飲食物の机上置きを禁止します。 2. 大幅な遅刻や受講態度の悪い者に対しては、退席を命じ受講登録を取り消すことがあります。 3. 通常の授業とは開始時間が異なりますので注意してください。１３：３０の開始です。 4. 履修上の質問は、橋本、藤野まで電子メールで連絡してください。 橋本規之：nhashimo@shinshu-u.ac.jp 藤野義和：yoshikazufujino@shinshu-u.ac.jp 5. 大学が指定する感染症によって欠席する場合には、担当教員ではなく、学務グループに連絡してください。 6. 学修補充に該当する事由によって欠席し、かつ学修補充の申請をした場合には、指定された期間内で授業録画を視聴し、課題レポートを提出してもらいます。
(10)質問,相談への対応	講師への質問は、原則として、講義時間内の質問の時間帯に限ります。 講師への質問は、起立し、所属学部学科・学籍番号・氏名を明確に告げ、謝辞をのべてから、簡潔に行ってください。
【教科書】	指定しません。
【参考書】	指定しません。